

入浴介護用品の 選定ポイント集

入浴動作の安全と自立支援、介護負担軽減のために

利用者に最適な商品がすぐわかる!

入浴介護用品が必要な理由と導入による効果

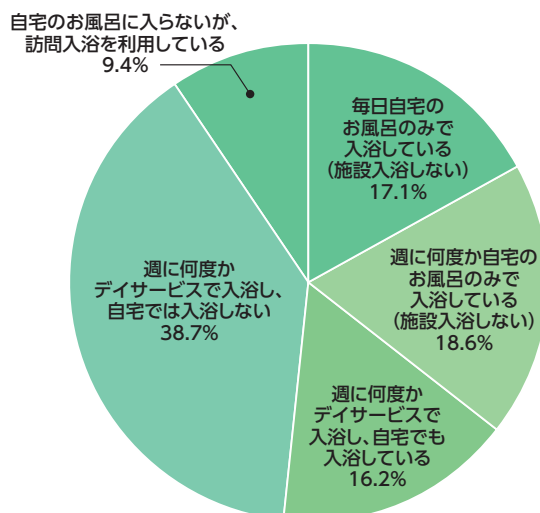
安全で快適な入浴の環境整備

「入浴」は、日本人独自の文化といっても良いほど大切な行為です。身体を清潔にしたり、ストレスを解消したり、新陳代謝を高め、気持ちや身体を爽やかに保ち、疲労回復や食欲の増進など様々な面で健康な生活の維持には欠かせないものです。しかし、浴室の中には段差や足のすべりなど足腰の弱った高齢者や身体の不自由な方にとって危険な場所がたくさんあります。手すりの設置や段差解消などの住環境整備とともに、浴室内の福祉用具導入による環境整備もとても重要であると言えます。

入浴に関するアンケートから読み取れる実態とニーズ

以下は、アロン化成が2014年に行った「入浴に関するアンケート」(要介護者の同居家族200名対象)の結果です。

毎日自宅で入浴している方は、全体の17%



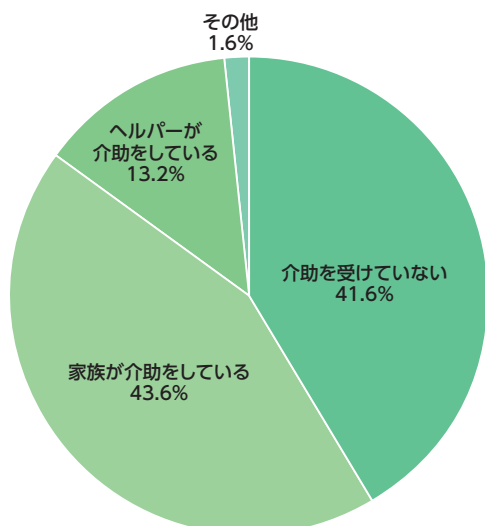
- 約83%の方は、週に何度かの入浴
- 約39%の方は、デイサービスのみで入浴

一方で「可能な限り自宅の湯船につかりたい」という質問には90%以上の方が「そう思う」と答えました。



「自宅でお風呂に入りたい」というニーズをかなえるために、浴室の環境整備は重要です。

ヘルパーなどの専門職が入浴介護するのは、自宅入浴の13%



- 約42%の方は、自立入浴
- 約44%の方は、家族が介助して入浴

自宅での入浴において、専門職が介助するケースは少数となっています。



ご本人・ご家族だけでも安全・安心に入浴することができるような「わかりやすい入浴方法」と「使いやすい用具」の提案が重要です。

入浴介護用品導入による効果

用具の適切な選定と導入により、転倒などの危険を未然に防止（介護予防）し、ご利用者自身のADL改善（自立支援）、介助負担の軽減を図ることができます。それによりQOL（生活の質）も改善され、生き生きとした生活をおくる支援が可能となります。

直接的効果

入浴介護用品	導入による効果(自立支援と介助負担の軽減)	対象要介護度
シャワーベンチ	<ul style="list-style-type: none"> ● 立ち座りや姿勢保持の改善により転倒の防止、安全の確保が可能 ● 見守りが不要となり、一人入浴が可能 ● 立ち座りや姿勢保持の改善により、介助者の負担の軽減 	特定高齢者 要支援1・2 要介護1～4
浴槽手すり	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽またぎ姿勢の安定化により転倒の防止、安全の確保が可能 ● 浴槽内での姿勢保持の改善により、安全の確保が可能 ● 見守りが不要となり、一人入浴が可能 	特定高齢者 要支援1・2 要介護1～3
浴槽台／踏み台	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽またぎ高さを少なくでき、安定した姿勢により転倒の防止、安全の確保が可能 ● 浴槽内での立ち座りや姿勢保持の改善により転倒の防止、安全の確保が可能 ● 半身浴による心臓負担の軽減 ● 見守りが不要となり、一人入浴が可能 ● 立ち座りや姿勢保持の改善により、介助者の負担の軽減 	特定高齢者 要支援1・2 要介護1～4
バスボード (入浴台)	<ul style="list-style-type: none"> ● 座位入浴による姿勢保持の改善により転倒の防止、安全の確保が可能 ● 浴槽へのまたぎ動作をなくすことにより移乗に伴う介助負担の軽減 	要介護1～4
浴槽内 すべり止めマット	<ul style="list-style-type: none"> ● 足元、お尻のすべりを防ぎ転倒の防止、安全の確保が可能 	特定高齢者 要支援1・2 要介護1～4
浴室内すのこ 洗い場マット	<ul style="list-style-type: none"> ● 段差解消により、つまずきや昇り降りをなくし、転倒リスクの低減 ● 浴槽またぎ高さを少なくでき、安定した姿勢による転倒リスクの低減 	要支援1・2 要介護1～4

間接的効果

介助に対する気兼ねが減少し、生きる意欲の持続を促進する
自宅での入浴が可能となる
入浴機会が増え、身体が清潔に保たれ、健康を増進する
心身がリフレッシュされ、機能回復にもつながる
入浴サービスでは日中に入浴することが多いが、一人入浴ができることで就寝前に入浴が可能となり、安眠効果につながる

入浴介護用品が必要な理由と導入による効果

入浴介護用品導入前にチェックすべき事項

身体状況及び病状・症状・ADL(自立支援)

身体状況・病状・症状	不安・困難な状況
腰痛・筋力低下・変形性膝関節症・リウマチ・骨折など	<ul style="list-style-type: none"> 立ち座りが困難 浴槽またぎが困難
視力障害(弱視・白内障・緑内障)	<ul style="list-style-type: none"> 障害物の確認・識別が困難
認知症	<ul style="list-style-type: none"> 用具の識別が困難
心臓疾患や高血圧で温度変化による心臓、血管系への負担がある	<ul style="list-style-type: none"> 長時間の入浴が困難 熱いお湯や肩までお湯につかるのが困難
脳血管疾患や脊髄損傷などのまひ	<ul style="list-style-type: none"> 立ち座りが困難 浴槽またぎが困難 座位姿勢の保持が困難(まひ側に転倒しやすい) やけどやけがに気づかない
パーキンソン病	<ul style="list-style-type: none"> 浴槽またぎが困難 身体の向きを変えるのが困難 座位姿勢の保持が困難

住環境(浴室状況とスペース)

住環境	浴室仕様	問題点
出入り口の状況	開き戸(内開き)	<ul style="list-style-type: none"> シャワーベンチや移乗台などが扉の開閉に邪魔になる
	折り戸	<ul style="list-style-type: none"> シャワーベンチや移乗台を設置しても邪魔になりにくいが、入り口の開口幅が小さくなる
	引き戸	—
出入り口の段差	段差あり	<ul style="list-style-type: none"> 入り口の段差によってつまずく危険がある
	段差なし	—
浴室内スペース	0.75坪以下(120×160cm以下)	<ul style="list-style-type: none"> 大きめのシャワーベンチを設置すると移動スペースや介助スペースを確保しづらい
	1坪以上(160×160cm以上)	—
浴槽の大きさと形状	和式風呂	<ul style="list-style-type: none"> またぎ高さが高く、またぎが大変
	和洋折衷風呂	—
	洋式風呂	<ul style="list-style-type: none"> 浴槽の長さが長く、背もたれの傾斜がきついため、お尻がすべりやすい
	変形風呂	<ul style="list-style-type: none"> 浴槽手すりや浴槽台の設置が困難な場合がある
	据置式(またぎ高さ50cm以上)	<ul style="list-style-type: none"> またぎ高さが高く、またぎが大変
	埋込式(またぎ高さ50cm以下)	—
洗い場、浴槽底のすべりやすさ	タイル、プラスチック、木、金属	<ul style="list-style-type: none"> 洗い場は石けんなどの付着で滑りやすくなるため注意が必要 浴槽内は、底面の状況や浮力により滑りやすい 浴槽の底にすべり止め加工している浴槽では吸盤がつかない

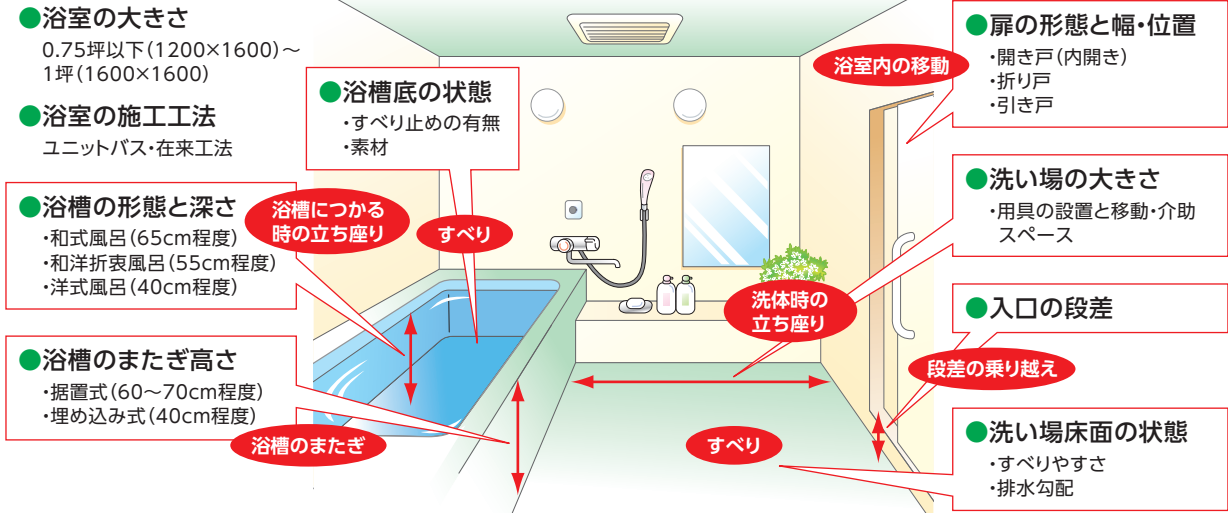
介護状況

一人入浴	介助入浴
------	------

家族構成

独居	家族有り
----	------

浴室での動作と困難(リスク)な状況



入浴介護用品の設置例

一人入浴の場合

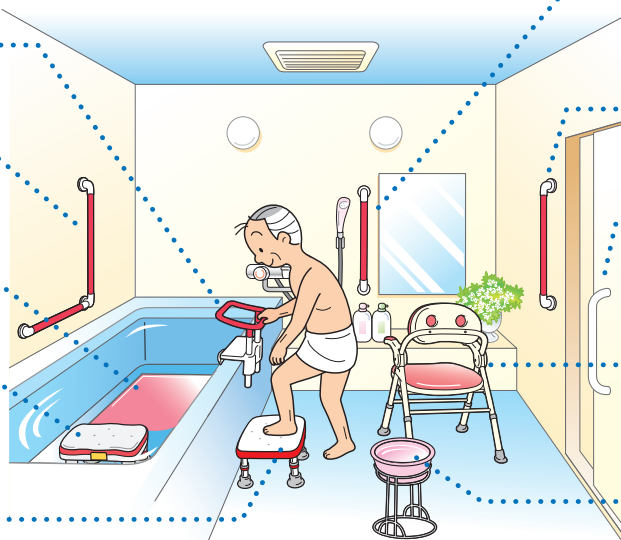
浴槽手すり.....
浴槽からの出入り時のまたぎ姿勢をしっかりと保ちます。

手すり(浴室用).....
浴槽からの立ち座りや、入浴姿勢を保つときに使用します。

すべり止めマット.....
浴槽内で足やお尻がすべるのを防ぎます。

浴槽台.....
浴槽が深いときの段差の解消や半身浴、立ち座りの補助イスとして便利。

浴槽台(洗い場兼用タイプ).....
またぎ高さの大きい浴槽への出入りをサポート。



手すり(洗い場用)
シャワーベンチからの立ち座りや浴室内での移動の時に便利です。

手すり(出入り口用)
浴室への出入り時の移動用として使用します。

扉
浴室の扉の形態によって用具の選定が必要となる場合がありますので注意が必要です。

シャワーベンチ
通常の風呂イスよりも広く高さのある座面で、立ち座りや姿勢保持をしっかりサポートします。

湯おけスタンド
床に置いた洗面器を持ち上げられないときに便利です。

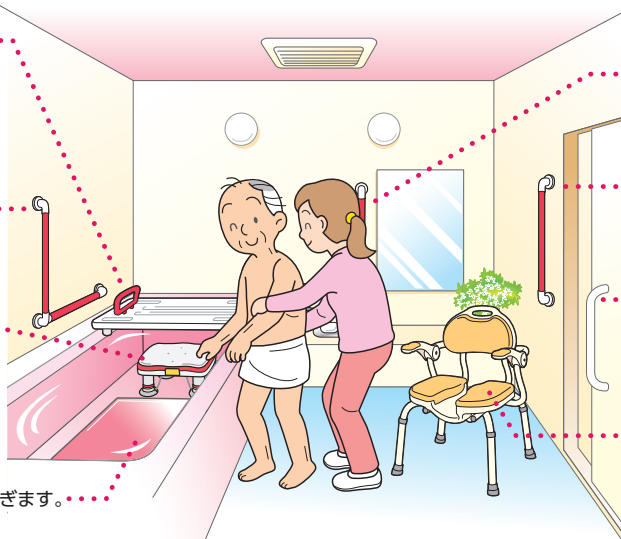
介助入浴の場合

バスボード.....
浴槽へのまたぎ姿勢がとりづらい場合や介助入浴の場合に、腰掛けた姿勢で浴槽内に身体を移乗させる時に使用します。

手すり(浴室用).....
浴槽からの立ち座りや、入浴姿勢を保つときに使用します。

浴槽台.....
浴槽が深いときの段差の解消や半身浴を行ったり、立ち座りの介助負担を軽減できます。

すべり止めマット
浴槽内で足やお尻がすべるのを防ぎます。



手すり(洗い場用)
シャワーベンチからの立ち座りや浴室内での移動の時に便利です。

手すり(出入り口用)
浴室への出入り時の移動用として使用します。

扉
浴室の扉の形態によって用具の選定が必要となる場合がありますので注意が必要です。

シャワーイス
座ったままでも局部洗浄ができ、介助時の負担を軽減できます。

シャワー浴を安全に行うための シャワーベンチ



主な身体機能と困難な状況

- 廃用性の筋力低下・変形性膝関節症やリウマチ、半身麻痺・骨折など立ち座りが困難。
- ふらつきがあり常に転倒しやすい。
- パーキンソン病でつまずきやすく、方向転換が困難。
- 心臓疾患や高血圧で温度変化による心臓、血管系への負担がある。

住環境

- 出入口の扉の状況
- 浴室の洗い場スペース

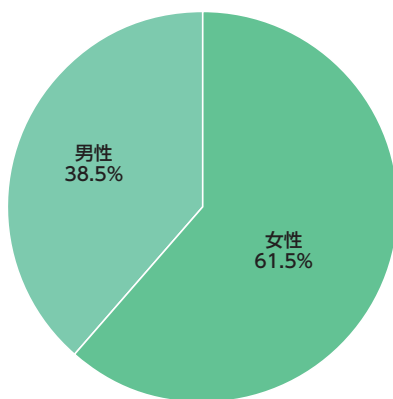


シャワーベンチ導入による効果

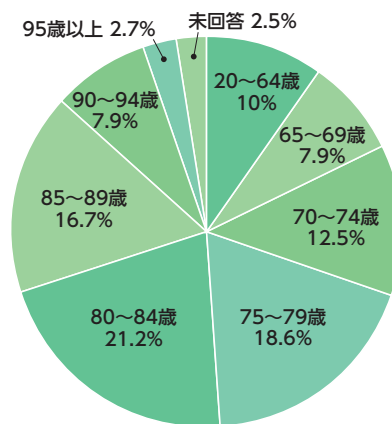
- 立ち座りや姿勢保持の改善により転倒の防止、安全の確保が可能
- 見守りが不要となり、一人入浴が可能
- 立ち座りや姿勢保持の改善により、介助者の負担の軽減

シャワーベンチの利用者実態 (2015年調査 2,625件)

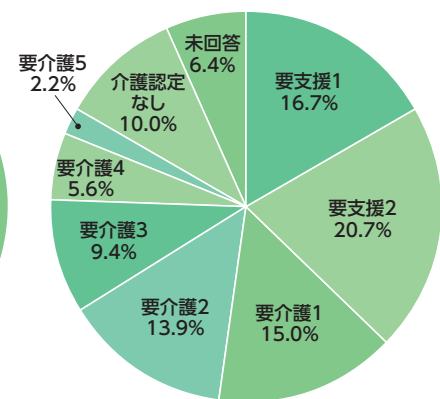
使用者の性別



使用者の年齢



使用者の要介護度



シャワーベンチは一般的な高齢者(特定高齢者)や要支援1、2・要介護1の方の利用頻度が高い(50%以上)ことから、介護予防や転倒予防のためにも早い段階からの導入が望まれています。

シャワーベンチ選びのポイント

浴室にて入浴動作が安全にできるだけのスペースが残るように製品を選びましょう。

環境

- ①浴室の洗い場の大きさや出入り口の扉の状況確認が重要です。
内開きの扉の場合、シャワーベンチが邪魔になり扉が開かないこともあります。
- ②移動に十分なスペースが確保されるか確認しましょう。
移動スペースが少ないと、転倒の原因になります。
- ③介助入浴の場合、利用者と介助者が移動できるスペースの確保も重要です。
無理な姿勢による介助で、身体への負担や転倒の危険があります。

その他

- ①体格や身体の状態に合ったシャワーベンチを選びましょう。
利用者の身体状況に合わせることで、身体への負担や転倒などの危険を未然に防ぐことができさらに自立を促進する上でも重要です。
(ひじかけの有無、座面の形状、高さなど)
- ②浴室内では、できるだけ視認性の高い商品を選択しましょう。
弱視や白内障の方など、湯気によって商品の場所が分かりづらくなります。
- ③身体の触れる部分はソフトで冷たくないソフトパッド付がおすすめです。
身体のやせた方では、お尻や背中への保護は重要です。

視覚の能力は加齢によってだんだん悪くなっていきます。
高齢者の視覚「Aging Vision (エイジングビジョン)」に配慮して、
安全・安心な色彩設計を提案します。

暗い浴室環境で容易に識別できる色、とっさのときに瞬時に反応できる色、
これが浴室における安全・安心な色 (= 赤色) であると考えます。

高知工科大学 篠森敬三教授、静岡県工業技術研究所 鈴木敬明科長、豊橋技術科学大学 中内茂樹教授との取り組みにより、浴室環境下における手すり色材の視認性について検証を行いました(AIC2013(2件)、APCV2014)。

マンセル表色系から網羅的に選んだ色彩の比較

全体として「赤色」は視認性において優位
さらに、今後普及が見込まれるLED(電球色)光源において優位性が顕著であった

一対比較法

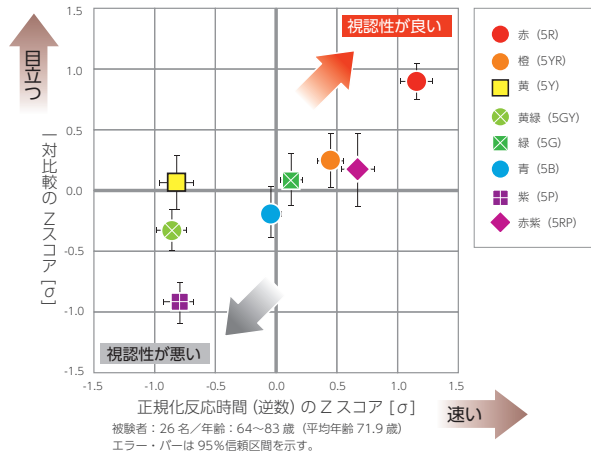
浴室手すり部の各色における目立ちの比較評価。
赤(5R)は他の全ての色に対して有意に目立つ。

反応時間計測

感覚刺激の提示から行動による反応が生じるまでの時間を計測。
赤(5R)は、赤紫(5RP)と橙(5YR)以外の色に対して有意に速い。



照明環境：蛍光灯(昼白色)、LED(電球色、昼白色)の平均



機能のポイント

座面高さ調節

座面の高さは使用される方の体格や膝関節症・リウマチ等の身体の状態に合わせて、28cm～51cmまで様々な種類の商品を品揃えしています。立ち上がりや座位の安定のためにも使用者に合わせた設定が不可欠です。

●小柄な方には

座面高
28cmから
対応



シャワーベンチ
Mini S

背付シャワーベンチ
Mini S

●膝関節症・
リウマチの方には

座面高
51cmまで
対応



ひじ掛け付シャワーベンチ
TH-S / TH-U

ひじ掛け付シャワーイス
HP

立ち上がり補助や座位の安定に不可欠なひじ掛け

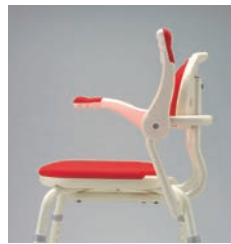
ひじ掛けは、足腰の弱い方で中腰姿勢がとりづらかったり、片まひや虚弱な方など身体にふらつきがある方等には必要不可欠です。

●姿勢保持の安定には



ひじ掛け付シャワーベンチ
RE-U

●移乗や介助には



折りたたみ
シャワーベンチ
IS / IU



ひじ掛け付
シャワーベンチ
TH-S / TH-U

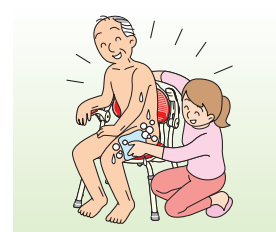
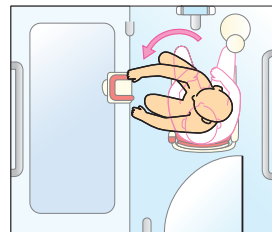
固定式のひじ掛けで「立ち座り」や「座位」をサポートする形状です。ひじ掛けをはね上げることができ、移乗や介助の時に邪魔になりません。



立ち座りをサポート



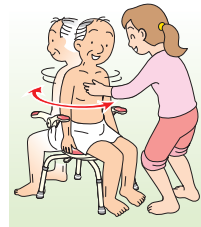
座位をサポート



身体の方角替えを補助する回転座面

下肢筋力の弱った方や半身まひの方、パーキンソン病など身体の方角を変えることが困難な方、介助入浴の場合など、シャワーベンチへの乗り移りや浴槽への移乗時に座面が回転することで身体の方角替えを安心して行うことができます。また、じょくそうなどで皮膚に負担をかけられない方には、お尻に負担無く回転移乗を行うことができます。

●介助入浴には「まわるくん」



ひじ掛け付シャワーベンチ
まわるくん

座ったままでも局部洗浄が可能

膝関節症やリウマチの方、片まひの方など、お尻や局部の洗浄時に中腰姿勢や立位姿勢をとるのに不安のある方には最適。

使用者の心身への負担や転倒の危険、介助者の負担を軽減します。

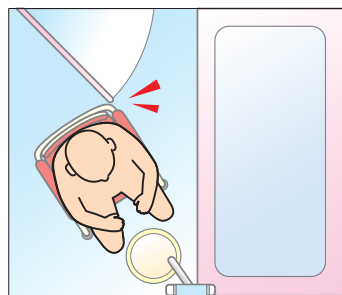


ひじ掛け付シャワーイス HP

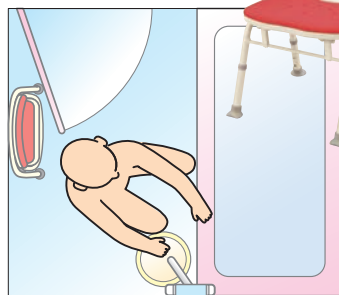
内開きの扉や0.75坪以下の狭い浴室にも

内開きの扉では、シャワーベンチを設置すると扉の開閉が行えないケースがあり、さらに賃貸住宅や公団住宅など0.75坪以下の狭い浴室では、移動や介助のスペースを十分に確保できず、無理な姿勢による転倒の危険もあります。浴室の環境に合わせた商品の選択が重要です。

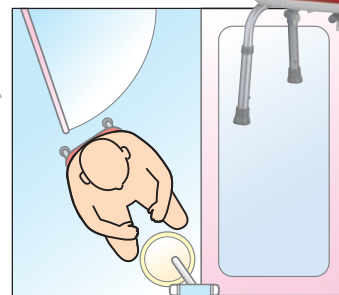
●内開きの扉の場合



折りたたみタイプ

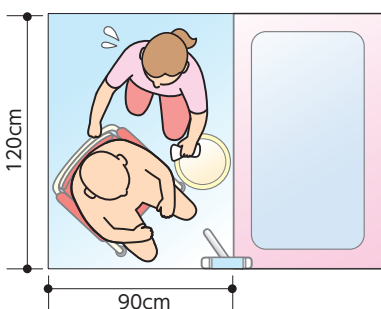


Miniタイプ

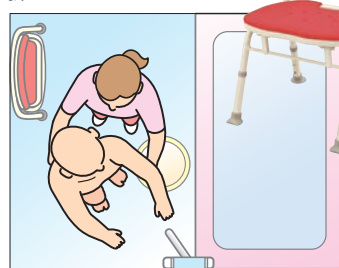


折りたたみタイプやミニタイプを利用すると、扉の開閉をスムーズに行うことができます。

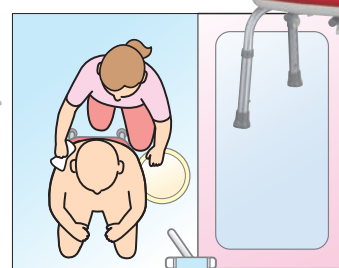
●0.75坪以下の狭い浴室の場合



折りたたみタイプ



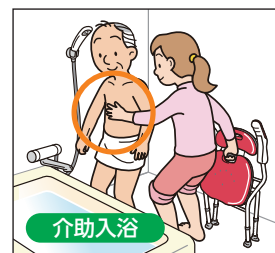
Miniタイプ



折りたたみタイプやミニタイプを利用することで、介助スペースをしっかりと確保できます。

折りたたみシャワーベンチ **楽**おりシリーズ

●片手で折りたためる転倒防止のためのシャワーベンチ



座面後方の持ち手を上に引き上げるだけの簡単操作で、コンパクトに折りたたみができます。

一人入浴でも介助入浴でも身体を支えながら折りたたみ動作ができるので転倒予防につながります。

浴槽またぎを安全に行うための 浴槽手すり



主な身体機能と困難な状況

- 廃用性の筋力低下・変形性膝関節症やリウマチ、半身まひ・骨折などまたぎ動作が困難。
- ふらつきがあり常に転倒しやすい。
- 浴槽内での身体の安定が困難。
- 浴槽内での立ち座りが困難。

住環境

- 浴槽の形状・大きさ・壁厚



浴槽手すり導入による効果

- 浴槽またぎ姿勢の安定化により転倒の防止、安全の確保が可能
- 浴槽内での姿勢保持の改善により、安全の確保が可能
- 見守りが不要となり、一人入浴が可能

効果的な組み合わせ事例



浴槽手すり



浴槽台



おく楽すべり止めマット

浴槽のまたぎ高さや浴槽内の深さ、底面のすべりやすさなど、浴槽の状態と動作レベルに合わせた用具の組み合わせで、安全に入浴を行うことができます。

浴槽手すり選びのポイント

環境

- ① 設置する浴槽の形状や浴槽の壁厚の確認が必要です。
浴槽の形状（湾曲しているもの）や壁厚によっては設置できないものもあります。
- ② 浴室の壁強度が弱かったり、賃貸住宅などで壁付け手すりが取り付けできない場合、浴槽手すりが有効です。

その他

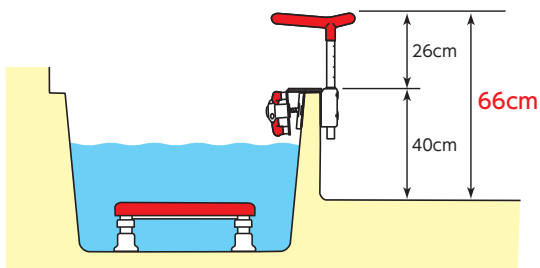
- ① 浴槽のまたぎ高さ（埋込式・据置式）や身体状況に応じて手すりの高さを設定することが必要です。
浴槽のまたぎ高さ（身長や姿勢）に合わせることで、安定した姿勢で入浴できます。
- ② グリップはしっかりと握れ、ご利用者の身体機能に合わせて身体の安定と連動した、またぎ動作の補助ができるものを選択しましょう。
ご利用者のADL（日常生活動作）に合わせて、またぎ動作時のグリップ形状が選択できます。
- ③ 浴槽内では、できるだけ視認性の高い色の商品を選択しましょう。
弱視や白内障の方など、湯気によって商品の場所が分かりづらくなります。
- ④ 立位でのまたぎ動作が可能か確認が必要です。
困難な場合は、座位姿勢による浴槽への移乗がお勧めです。

機能のポイント

広範囲のグリップ高さ調節

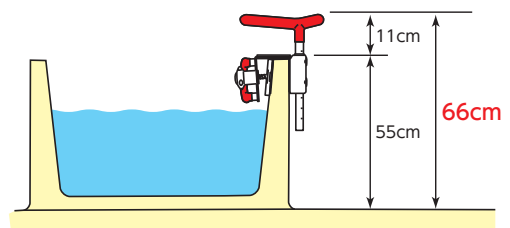
浴槽の上縁から11・14・17・20・23・26cm（6段階）の範囲で、体格・症状に合わせて適切なグリップ高さを選択できます。

浴槽壁高さ40cm（埋込式浴槽）の場合



浴槽が低すぎてまたぎ動作が不安だった埋込式浴槽もグリップを高くすることで安心して使用できます。

浴槽壁高さ55cm（据置式浴槽）の場合



据置式浴槽など高い浴槽の場合はグリップを低く設定して使用できます。

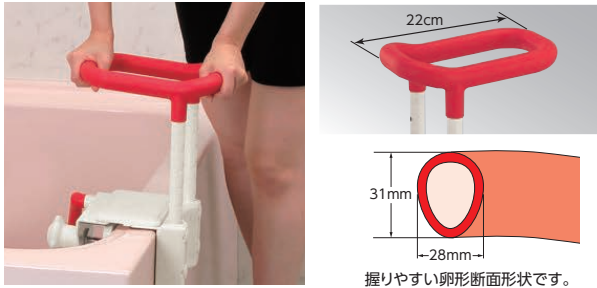
機能のポイント

しっかり握れるループ形状のグリップ

あらゆる握り方にも対応するループ形状のグリップで、浴槽をまたぐ時やシャワーベンチでの立ち座り、浴槽内からの立ち座りなど様々な用途に使えます。

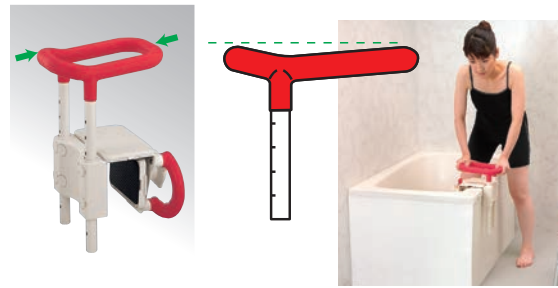
利点1

グリップの水平な部分は握るためのスペースが十分にあるので両手でしっかりと握れ、浴槽への出入りを安心して行えます。



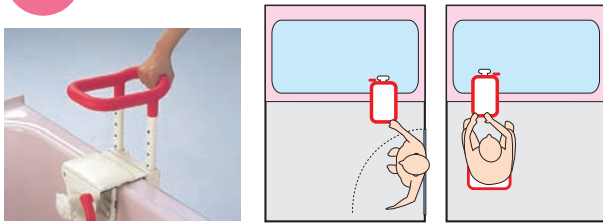
利点2

グリップの水平な部分は両端が同じ高さになっているので、両手で握った時に身体が傾かず安定した動作が行えます。



利点3

洗い場側のグリップをつかめるので浴室への出入りや洗い場での立ち座りの補助手すりとしてたいへん便利です。



利点4

浴槽内側に長くなっているグリップ形状は、浴槽壁が厚い場合でも浴槽内から手が届きやすいので浴槽内での立ち座りも安心です。



トルク制御で適正な取り付け

ハンドルの締め付けの際、カチッと音が鳴るまで回せば、締め付け不足や浴槽破損を起こさない、適正な力で取り付けができます。



対応機種

● 浴槽手すり UST-130N



● 浴槽手すり UST-200N



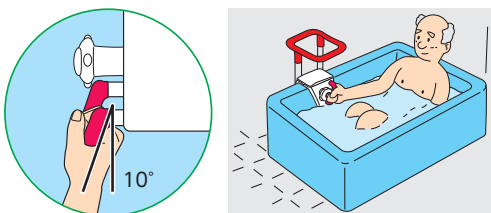
● 浴槽手すり UST-130R



浴槽内での姿勢を安定できる浴槽内グリップ

浴槽内では浮力がかかり身体が浮きやすく、お尻がすべるなど姿勢の安定が困難になります。浴槽内グリップを握り、姿勢を安定させることも重要です。

内グリップが浴槽内側に傾斜しているのが無理なくつかめて身体を安定させることができます。



対応機種

● 浴槽手すり UST-130N/200N



● 浴槽手すり UST-130R



● 浴槽手すり UST-130



● 浴槽手すり UST-165W



⚠ 設置する浴槽の形状や浴槽の壁厚の確認が必要です

取り付けできない浴槽

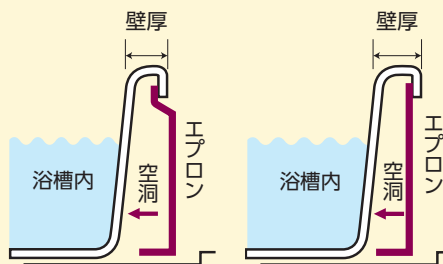
以下の浴槽には、浴槽手すりは取り付けられません。

■ ポリ浴槽など、浴槽外側のエプロン部を取り外しできる浴槽

取り外しのできるエプロンが前面1枚だけの「前面着脱式1方全エプロン」浴槽は取り付けできません。
 なお、判断つきにくい場合は、現在お使いの浴槽製造メーカー又は浴室施工業者までお問い合わせください。

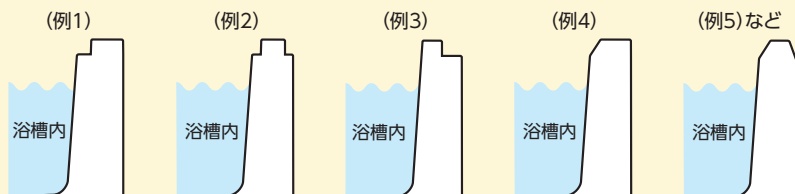
■ 浴槽壁の厚みが指定された取り付け可能範囲外の浴槽

取り付け可能な浴槽の壁厚は、各商品の情報を参照してください。



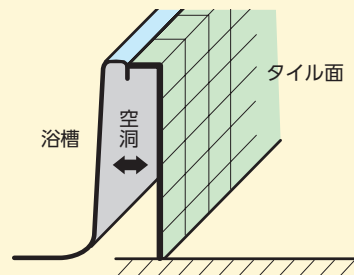
■ 浴槽上縁部に段差や、傾斜のある浴槽

浴槽壁へのはさみ込み面積が少なくなり、浴槽からはずれる可能性があるので取り付けないでください。



■ 浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りで内側が空洞になっている浴槽

浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りの場合、タイル面を軽くたたいて、内部が空洞が確認してください。空洞の場合は壁強度が確保できず、タイルや側壁が破損し、浴槽手すりが外れる恐れがあるので取り付けないでください。なお、詳細が判断つかない場合は、浴室施工業者又はお買い上げの販売店にご確認ください。



■ 木製の浴槽

木製の浴槽の場合、取り付け面にぬめりが発生しやすいため浴槽手すりが外れる可能性があるので取り付けないでください。

「安寿」浴槽手すりのおすすめ商品

工具不要! 取付・調節が簡単スピーディー!
 トルク制御で適切な取り付け

高さ調節付浴槽手すり
 UST-130N
 26,500円(税抜)

高さ調節付浴槽手すり
 UST-200N
 27,500円(税抜)

高さ調節機能付き。
 2枚押圧板でR形状の浴槽
 コーナーにも取り付けできます

高さ調節付浴槽手すり
 UST-165W
 30,000円(税抜)

身長や浴槽縁の
 高さに合わせて
 グリップ高さが調節できる

高さ調節付浴槽手すり
 UST-130
 18,500円(税抜)



浴槽またぎや浴槽内での立ち座りを安全に行うための

浴槽台



主な身体機能と困難な状況

- 廃用性の筋力低下・変形性膝関節症やリウマチ、半身麻痺・骨折などまたぎ動作が困難。
- 浴槽内での立ち座りが困難。

住環境

- 浴槽の形状・大きさ
- 浴槽底の表面状態



浴槽台導入による効果

- 浴槽またぎ高さを少なくでき、安定した姿勢により転倒の防止、安全の確保が可能
- 浴槽内での立ち座りや姿勢保持の改善により、転倒の防止、安全の確保が可能
- 半身浴による心臓負担の軽減
- 見守りが不要となり、一人入浴が可能
- 立ち座りや姿勢保持の改善により、介助者の負担軽減

効果的な組み合わせ事例



浴槽手すり



浴槽台



おく楽すべり止めマット

浴槽のまたぎ高さや浴槽内の深さ、底面のすべりやすさなど、浴槽の状態と動作レベルに合わせた用具の組み合わせで、安全に入浴を行うことができます。

浴槽台選びのポイント

自立または介助で浴槽またぎ動作が可能か確認が必要です

設置する浴槽の深さ（和式・和洋折衷式・洋式）や形状（幅・底の湾曲）、浴槽底の状態による選択（標準・ジャスト・ミニ）が必要です

浴槽底の状態（すべり止め加工された浴槽や木製浴槽・古く浴槽底が荒れている）によって、吸盤タイプと自重で沈むタイプの選択ができます。

浴槽が据置式や和式の場合、洗い場側の踏み台と併用すると効果的です。

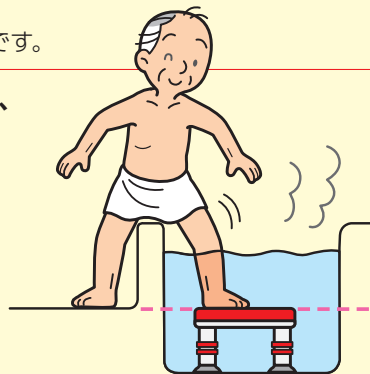
浴槽内の段差解消のための踏み台として使用する場合は、洗い場の高さと同じレベルに設定するとまたぎやすくなります

浴槽内のイスとしても利用する場合は、浴槽の種類によって肩までお湯につかれない場合があるので、ご利用者の身体状況やニーズに合わせて設定する必要があります。

浴槽内での立ち座りを無理なく安全に行うために、浴槽台を使用してお尻の高さを高くすることが有効です

浴槽内では、できるだけ視認性の高い商品“赤色”を選択しましょう

弱視や白内障の方など、湯気によって商品の場所が分かりづらくなります。



機能のポイント

浴槽台の着脱作業を誰が行うかによって種類の選択が可能

軽量樹脂製タイプ

最大
約2.5kg



メリット

軽量で腕力の弱い方でも持ち運びや、浴槽から取り外す作業が楽に行えます。

デメリット

浴槽へ取り付けるときに吸盤の固定作業（上から押えつけ）が必要です。お湯はり前に設置すると楽に取り付けが行えます。

自重で沈む金属製タイプ

最大
約3.6kg



メリット

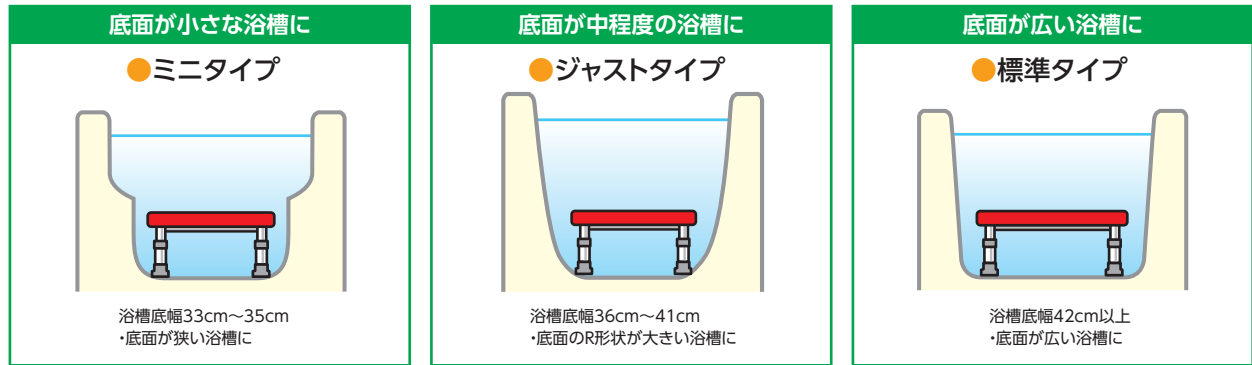
重量があり自重で沈むので、お湯を張ったあとも設置が楽に行え、吸盤を固定する作業も必要ありません。

デメリット

重量があり重たいため、腕力の弱い方では持ち運びや取り外しが困難な場合があります。

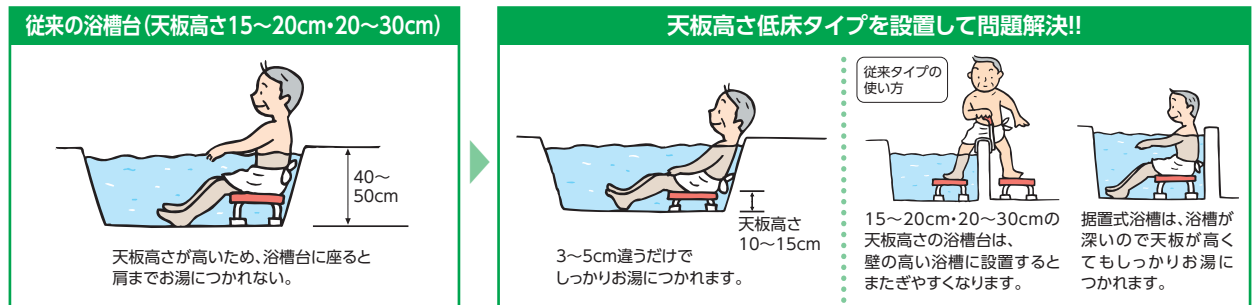
機能のポイント

様々な浴槽に対応する為に3サイズをラインナップ



浴槽の深さや身体状況、ご利用者のニーズに合わせて高さの選択が可能

浴槽の形状(和式・和洋折衷式・洋式)によって深さが異なったり、身体の疾患や肩までお湯につかりたいなど、様々な状況に対応できる品揃えを行っています。



ステップ高さ	ステンレス製浴槽台R	ステンレス製浴槽台Rジャスト	ステンレス製浴槽台Rミニ	ステップ高さ	アルミ製浴槽台ジャスト
10cm	幅40cm 奥行30cm	幅34cm 奥行30cm	幅31cm 奥行27cm	10~15cm	幅36cm 奥行34cm
12~15cm				15~25cm	
15~20cm					
17.5~25cm					
20~30cm					
ステップ高さ	高さ調節付浴槽台R	高さ調節付浴槽台Rミニ			
15~22.5cm	幅42cm 奥行32cm	幅32cm 奥行27cm			

用途に合わせて天板の材質(すべり止めシート・ソフトクッション)が選択可能

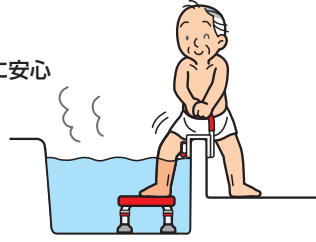
浴槽内の踏み台として使用する際に、足元のすべり止めに重視したい場合はすべり止めシートタイプ、お尻の皮膚が弱くソフトクッションでやさしくサポートしたい場合はソフトクッションタイプがお勧めです。

●すべり止めシート

踏み台として使用する際に安心



すべりにくい、エラストマーで加工した天板



●ソフトタイプ

ソフトクッションがおしりにやさしい



やわらかい、EVAクッションを採用

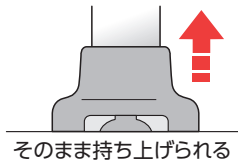
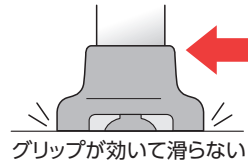


お湯の中でも本体がずれ動きにくい工夫をしています

浴槽の底の状態やお湯の中でも踏み込んだときに、本体がずれ動きにくい脚ゴムや、吸盤の形状を採用しています。

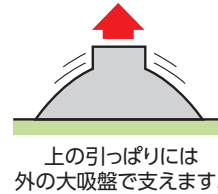
●"あしびた"シリーズ

脚ゴムと吸盤のハイブリッド構造で、吸着効果とすべり止め効果を両立。浮力によるズレ動きを防止します。



●高さ調節付浴槽台R

大吸盤の中に小吸盤が5個ついた2重吸盤で、浴槽内での横すべりを防止します。



※横すべりに対して当社比約3倍の吸着力



「安寿」浴槽台のおすすめ商品

大きな天板で、浴槽に隙間が少なく設置できます。



アルミ製浴槽台

	アルミ製浴槽台	アルミ製浴槽台ソフト
10-15cm	17,000円(税抜)	18,000円(税抜)
15-25cm	17,000円(税抜)	18,000円(税抜)

自重で沈んで簡単設置。浴槽の大きさや深さ、ご利用者のニーズに合わせて選択可能。洗い場での踏み台としても利用できます。



ステンレス製浴槽台R

	ステンレス製浴槽台R (ミニ、ジャスト、標準)	ステンレス製浴槽台Rソフト (ミニ、ジャスト、標準)
10cm	17,000円(税抜)	18,000円(税抜)
12-15cm	18,000円(税抜)	19,000円(税抜)
15-20cm	18,000円(税抜)	19,000円(税抜)
17.5-25cm	18,000円(税抜)	19,000円(税抜)
20-30cm	18,000円(税抜)	19,000円(税抜)

座位による浴槽への移乗を安全に行うための

バスボード

主な身体機能と困難な状況

- 廃用性の筋力低下・変形性膝関節症やリウマチ、半身まひ・骨折などまたぎ動作が困難。
- 浴槽のまたぎ動作が困難で、介助による入浴が必要

住環境

- 浴槽の形状・大きさ



バスボード導入による効果

- 座位入浴による姿勢保持の改善により転倒の防止、安全の確保が可能
- 浴槽へのまたぎ動作をなくすことにより移乗に伴う介助負担の軽減。

効果的な組み合わせ事例



バスボード



浴槽台



おく楽すべり止めマット

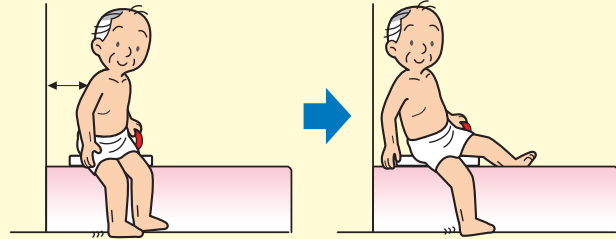
座位姿勢による入浴では浴槽内へ移乗後、足が浴槽底に接地しづらくなるため、浴槽台などで高さ調整すると安全に入浴することができます。

バスボード選びのポイント

環境

- ①浴槽の形状に合わせ、しっかり固定できるか確認が重要です。
使用中に本体がずれ動くと、転倒の危険があります。
- ②バスボードにお尻を完全に乘せた時に浴室の壁と背中に適度なすき間が必要です。すき間が無いと足上げの際に背中が窮屈となり、足上げがスムーズに行えない場合があります。

和式浴槽などで浴槽の長さが短く足上げに必要なスペースが確保できない場合もあるので注意が必要です。



- ③据置式で浴槽縁が高かったり、深い浴槽では、ご利用者の体格によって足が洗い場の床や浴槽の底につかず不安定になる場合があります。浴槽台や踏み台と併用しながら無理な姿勢にならないよう配慮が必要です。

その他

- ①半身まひや膝関節症・リウマチ・パーキンソン病の方などで浴槽をまたぐ動作ができず、座位入浴であれば可能な方が対象です。
- ②自立入浴の場合、移乗後バスボードを壁に立てかける作業ができるかの確認が必要です。

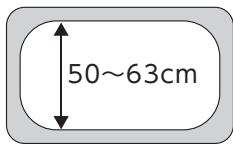
バスボードを設置したままでは浴槽内のスペースが小さくなり、入浴が困難になります。

「安寿」バスボードのおすすめ商品

座位移乗で負担を軽減



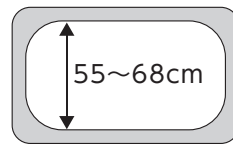
取付可能な浴槽サイズ
(浴槽内寸)



バスボードU-S
27,000円(税抜)



取付可能な浴槽サイズ
(浴槽内寸)



バスボードU-L
29,500円(税抜)



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル  **0120-86-7735**

(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00 (12:00～13:00はのぞく)

製品・在庫に関するお問い合わせは

- 東京支店 〒105-0003 東京都港区西新橋2丁目8番6号(住友不動産日比谷ビル8階)
TEL(03)3502-1422(代) FAX(03)3502-1431
- 大阪支店 〒530-0005 大阪市北区中之島3丁目3番3号(中之島三井ビルディング11階)
TEL(06)6448-5127(代) FAX(06)6448-5193
- 名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目4番6号(三井生命名古屋ビル6階)
TEL(052)203-0396(代) FAX(052)231-9157
- 福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目8番30号(天神西通りビジネスセンター)
TEL(092)741-1411(代) FAX(092)712-2594
- 仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1丁目3番45号(AI.Premium4階)
TEL(022)291-5475(代) FAX(022)291-5466
- 広島支店 〒730-0031 広島市中区紙屋町2丁目1-22(広島興銀ビル4階)
TEL(082)245-7100(代) FAX(082)245-7106
- 札幌営業所 〒060-0807 札幌市北区北七条西4丁目1番地2(KDX札幌ビル)
TEL(011)709-6011(代) FAX(011)709-6014
- 企画グループ 〒105-0003 東京都港区西新橋2丁目8番6号(住友不動産日比谷ビル8階)
TEL(03)3502-1448(代) FAX(03)3502-1452

<http://www.aronkasei.co.jp/anjyu/>

●商品のお求め・ご相談は

- 記載価格はメーカー希望小売価格です。
- このカタログの商品写真の色は、印刷物ですので現物とは多少違うことがあります。
- 製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。